はなえくぼひくみ便り No.53

令和 7年 8月 1日 発行 (株) ニーノコーポレーション 扶桑町大字斉藤字緑223 (0587) 93-7833

7月の初めに梅雨明け宣言をされましたが、雨季に逆戻り。 そして、例年と同じような時期に暑い夏がやってきました。 日々、激暑と戦っています。

毎年、「暑いねぇ」「セミが鳴いてるね」とお話ししながら はなえくぼひくみ玄関前の木の下で、セミが鳴いているのを見るのを 楽しみにしているのですが、今年はまだ見ることができていません。 抜け殻もまだのようです。夏本番!と思っていたのですが、 はなえくぼひくみのセミは、まだまだ地上には出てこれてない ようです。

ひくみのセミが出てきたら、スイカを買ってきて皆さんと 食べようと、ウキウキしていたのですが、 セミを待つことなくスイカを買いに行きそうです。

救急救命講習』

毎年、犬山消防署の職員の方に救急救命講習をお願いしています。 今年は、利用者の方も一緒にお話をきいて頂きました。

「こればっかりは、いつどうなるかわからんねぇ」と、真剣に 消防士の方のお話をきき、職員が心臓マッサージを行うのを、心配そうに 見られていました。

職員からは、「手順は完璧!でも分かっていても、いざとなったら 自信がない」「すっかり忘れていた。」 などの感想が出ました。

何度も繰り返し行うことにより、 体が勝手に動いてくれるはず!!! と信じ、

慌てず、落ち着いて対応できる ようにしていきます。







お出かけ』

各地で大雨洪水警報が発令されていて、大きな被害もあったようですが、 はなえくぼひくみでは平和な日々を過ごしています。

暑くてお散歩にもいけないので、順番に喫茶店に行っています。 利用者さんが大喜びなのはもちろんですが、職員も大喜びでした。

ほっこりとした幸せな気持ちが、心の中で小さなお花のように長く咲き つづけてくれますように。

地域柄なのか、年代なのか、毎日喫茶店に行って 近所の人とお話をしていた方が多く、喫茶店は 日常に溶け込んだ場所のようです。 利用者されたちの思い出のエピソードを りでも聞き取れる機会にできたらいいなぁと 思っています。





認知症ケアの研修で必ず教えていただくこと。

- 本人のやる気を尊重する。失敗や間違った言動を責めない。
- ・相手が理解しやすい言葉で話す。・孤独にさせない。
- 急な環境の変化は避ける。

皆さんは、日々意識して利用者さんのお手伝いできていますか? 利用者さんにだけでなく、はなえくぼひくみのスタッフのみんなが、 同じ働く仲間同士でこの対応ができれば、はなえくぼひくみはもっと、 優しい場所になるんだろうなぁ。

分かってはいても、なかなか思うようにいかず、失敗と反省を繰り返 しています。はなえくぼひくみは、利用者さんにもスタッフにも優しい 場所でありたいです。

グループホームはなえくぼ江南

江南市小杁町長者毛西132番地

(0587)52-3808

次回は、はなえくぼ江南便りです。どうぞお楽しみに!

グループホームはなえくぼ扶桑 丹羽郡扶桑町大字柏森字计田398 (0587) 91-0110

グループホームはなえくぼひくみ はなえくぼのホームページ www.gh-hanaekubo.com 犬山市大字五郎丸字郷瀬川17番地1 (0.568) 68 - 8096ブログも時々更新しています

